

【事務事業調査】

事務事業名	学習内容定着度調査実施事業		予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業 10 - 01 - 02 - 003 - 04 - 01
担当部課	こどもみらい課	担当 サブリーダー	学校教育担当 斎藤雅人	事業の分類 既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	4月27日(金)、全小中学校において、小学4年生から中学3年生を対象に実施。6月13日(水)、調査結果の返却。これを受け6月26日(月)、第1回高根沢町学力向上推進委員会を実施。学習内容定着度調査の分析結果を提示するとともに、各学校の学力向上策について確認をした。6月28日、「国語の力を高めるための方策と読書活動の推進について」で教育委員会としての方策を学校に提示。7月3日、保護者向け「結果の概要」を配布。9月3日、全国平均資料が届いたので、各学校に電子データにして配布。比較検討を依頼。11月8日(木)第2回学力向上推進委員会を開催予定。各学校の取り組みについて確認する。	昨年度の町平均値70.8に対し、本年度平均値71.95となった。本年度の結果を分析したことで、各学校やクラス、個々の児童生徒の課題が把握でき、その評価観点を意識した授業を展開している。高根沢町教育委員会としての方策を示した「ならい」「方策」「達成基準」を意識し、先生方の意識も高まっている。
実績	5月1日に全小中学校において、小学4年生から中学3年生を対象に調査を実施した。この結果を受け「第1回学力向上推進委員会」を実施し、町全体の学習内容定着度調査の分析結果を提示するとともに、各学校の学力向上策について確認をした。さらに各学校ごとの結果を学校及び保護者に提示して、各学校ごとに結果を分析して検討した。そして「第2回学力向上推進委員会」を開催し、各学校の取り組みについて確認した。その結果、家庭での学習の必要性が高いことから、「家庭学習の手引き」を作成・配布し、学力の定着度を充実させることとした。	平成19年度の町全体の平均値は71.95点だったのに対し、平成20年度の町全体の平均値は70.75点と1.2点となった。算数・数学は19年度の点数を上回っているものの、国語・英語は下回ってしまった。このことから引き続き国語は「読む力」「文章理解」が低いことから継続して読書が必要であり、英語は読み取ったことをもとに考える「応用力」に重点を置いた学習が必要です。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
学習内容定着度調査平均点	平成18年度平均値(70.8) + 1.0点	70.75点	

事業費(計画)

細 節	金 額
1 委託料	1,859,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	1,859,000

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 委託料	1,859,000
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	1,859,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 委託料	1,768,704	調査委託料
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	1,768,704	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		1,859,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		1,859,000	
決 算	決算額		1,768,704	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	1,859,000	1,768,704	